



奈良県感染症情報

平成 29 年 第 12 週(3 月 20 日 ~ 3 月 26 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	3.37	(4.59)	↓	↓	↓	↓
2	感染性胃腸炎	3.24	(2.79)	→	→	→	→
3	A群溶連菌咽頭炎	2.85	(2.59)	→	→	→	→
4	流行性耳下腺炎	0.88	(1.03)	→	→	→	↑
5	RS ウイルス感染症	0.53	(0.68)	→	↗	↘	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの定点当たり報告数は、県内全域で更に減少しました。しかし、定点当たり報告数が 1.0 を下回るまでは油断できません。もう少しの間、手洗いの励行や咳エチケット(マスク)を心がけ、感染予防に努めましょう。

A群溶連菌咽頭炎(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)は、中和保健所西部では定点あたり報告数が 10.67 と高く、7 週連続で警報レベルが続いています。例年、4 月中旬頃から増え始め、6 月にピークを迎える疾患です。今後、より増える可能性があるため、感染予防を心がけてください。予防としては、患者との濃厚接触を避けること、うがい・手洗いを励行すること、タオルなどの共用を避けることが大切です。治療には、抗菌剤が有効です。喉の痛みを感じたら、すぐに医療機関を受診し、検査を受けるようにしましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザは週に一桁台の発症となっています。B 型も出ていますが増加傾向はありません。感染性胃腸炎は、小学生以上成人まで発症がみられますが、こちらも多くありません。ロタウイルスを疑わせる症状の方は見当たりません。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

溶連菌感染症が依然多い。A 型インフルエンザの流行も落ち着きつつあるも、流行している地域あり。B 型はほとんど流行していない。

胃腸炎は散発的にみられるが大きな流行はない。

呼吸器疾患は花粉症に関連した軽症が多いが、症状は遷延する例あり。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 29 年 第 12 週 3 月 20 日 ~ 26 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	11	10	2	3		
インフルエンザ	182 (3.37)	33 (2.36)	60 (4.29)	26 (2.36)	41 (4.10)	6 (3.00)	16 (5.33)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	18 (0.53)	6 (0.67)	4 (0.44)	3 (0.43)	5 (0.83)			
咽頭結膜熱	16 (0.47)	3 (0.33)	2 (0.22)	1 (0.14)	10 (1.67)			
A群溶連菌咽頭炎	97 (2.85)	7 (0.78)	15 (1.67)	3 (0.43)	64 (10.67)		8 (4.00)	
感染性胃腸炎	110 (3.24)	24 (2.67)	29 (3.22)	23 (3.29)	32 (5.33)		2 (1.00)	
水痘	5 (0.15)	4 (0.44)		1 (0.14)				
手足口病	5 (0.15)		1 (0.11)		4 (0.67)			
伝染性紅斑	2 (0.06)		1 (0.11)	1 (0.14)				
突発性発しん	9 (0.26)	3 (0.33)	2 (0.22)	2 (0.29)	2 (0.33)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	2 (0.06)		1 (0.11)		1 (0.17)			
流行性耳下腺炎	30 (0.88)	6 (0.67)	10 (1.11)	5 (0.71)	7 (1.17)	1 (1.00)	1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)	1 (0.33)	1 (0.33)	1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)						1 (1.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	3 (0.50)		3 (1.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核10件(奈良市3、郡山4、中和3)
3類感染症	
4類感染症	デング熱1件(中和1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件(奈良市1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 第12週のトピックス ❖

◆ 麻しん(はしか)患者の発生について
 ~ 麻しん(はしか)の報告が増えています ~ (山形県)

http://www.pref.yamagata.jp/ou/kenkofukushi/090001/20130425/mashinn_h28.html

◆ 何が危ない? どう防ぐ? ジカウイルス感染症(ジカ熱) 予防のポイント
<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男		1	4	4	7	5	6	2	2	4	4	11	4	8	5	10	4	3	4		88	4984	
	女		1	3	2	3	5	6	4	4	8	3	15	4	7	14	7	14	4	3	4	2	94	4724
RSウイルス感染症	男		2	5	2	2	1															12	157	
	女		3	2		1																	6	144
咽頭結膜熱	男		1	1	1	3	2	2														10	78	
	女		1	1	1	1	1	1	1														6	71
A群溶連菌咽頭炎	男		2	3	6	9	8	7	1	3	1	5										54	428	
	女		3	4	3	3	5	7	8	4	4	1	1	1	2							43	385	
感染性胃腸炎	男		3	10	7	7	6	5	1	5	1		3	1	10							59	668	
	女		1	10	7	3	5	2	5	4		1	1	2	9							51	557	
水痘	男				1	1																2	34	
	女						2	1														3	50	
手足口病	男						1															1	32	
	女						2															4	35	
伝染性紅斑	男																							7
	女			1									1									2	11	
突発性発しん	男		1	1																		2	78	
	女		3	4																		7	86	
百日咳	男																							1
	女																							
ヘルパンギーナ	男														1							1	5	
	女		1																			1	4	
流行性耳下腺炎	男			1		3	3	2	2	1	3		1									16	194	
	女					3	3	3	4	1	2		1									14	182	
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男																							21
	女															1		1					3	30
細菌性髄膜炎	男																							3
	女																							5
無菌性髄膜炎	男																							2
	女																							25
マイコプラズマ肺炎	男																							1
	女			1																				23
クラミジア肺炎	男																							1
	女																							3
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							3
	女			3																				5

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H29 ▲ H28 □ H27 〰 過去10年平均

